

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域の方々の認知症への理解が必要不可欠と考え、「より良い介護」「感動ある介護」を理念として掲げ、入居者様・職員が地域の方々との交流を深める為に挨拶を心掛け、近隣の清掃・散歩・外出するなどの機会を作っている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎月のマネジャーミーティング・フロアミーティングにおいて理念に関して確認し、実践できるようにしている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>御家族様に関しては運営推進会議・毎月の便り・近況報告書を通して理解していただけるようにしており、地域の方々には地域の会合等に参加し、理解して頂けるようにしている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>入居者様・職員による近隣の清掃活動・散歩によって交流を深めると共に、月1回の介護相談日を設け、気軽に立ち寄ってもらい地域の社会資源として活用して頂けるようにしている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>数年来地域の事業所・民生委員の会合に参加し、協力体制は常にとつといる。また、自治会・地域のお祭り等に参加している。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>介護相談及び、地域民生委員と連携し、事業所において出来る限りの事はするようにしている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の改善項目リストをもとに、ミーティング時に話し合い、具体的な改善に向けて取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>具体的なサービス内容における議題を設定し、御家族様・地域の方等の意見をもとに新たなサービスに関しても実際に取り組んでいる。(入居者様のリハビリテーションについて・ボランティアの導入等)</p>		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>神戸市および区の担当窓口とは、連携を取り、疑問点・質問等の解消に取り組み、サービスの向上に努めている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員によく理解してもらうように、冊子を配布し意識の啓発をしている。また、成年後見制度を利用されている入居者様もあり、具体的にまた個別に理解してもらうようにしている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>冊子を配布し、意識の啓発を行なっている。また、虐待に関することをフロアミーティングで話し合い常に意識付けをしている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、十分な説明、理解、同意のもとに締結している。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者・職員が共に意見、不満、苦情等を聞き取るようにしている。また、認知症状に応じて細かな対応を取るようになっています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月近況報告書において入居者様のいろんな情報・庵での情報をお伝えするようになっています。また、ホーム長の携帯をオープンにし、いつでも連絡を受けられる状態にしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置。また職員もいつでも対応できるようにしています。ミーティング時に活かせるような状況を確保している。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>マネージャーミーティング・フロアミーティングおよび個別にホーム長に話せるようにしている。また、運営者と直接話せるようにホットラインも開設している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務調整はご希望に沿って行なえるようにしている。また、通常の勤務シフト以外に2名常時確保している。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動・離職は少ない方である。そうならないように職員とは常に業務およびプライベートな相談にも応じるように心掛けています。また万が一代わる場合は入居者様本意に考え、最小限のダメージに抑えるように配慮しています。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修としては認知症介護実践研修を主に受けるようにしている。(リーダー研修も同じく)またその他に講演会参加、内部研修としては医療研修等を実施。また研修レポートなども行なっている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設見学や講演会に参加させ、同業者と交流を図れる努力はしている。また地域の事業所連絡会にも参加しています。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>個別のヒアリングも必要に応じて実施。またホットラインにおいて個別に話せる状況づくりを常にしている。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の個々の勤務状況や方向性についてきちんと把握し、資格助成制度もあり、向上心を持って勤務できるようにしている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>必ずご本人を面談を実施。ニーズにより面談も数回する場合もある。面談時においてはバイスティックの7原則をもとに実施。ご本人から直接聞き、ニーズを引き出している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族様の不安解消に努め、種々に応じた相談業務を行なっている。介護保険全般の説明をし、その人に合ったサービスに結び付けられるように援助している。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況把握に努め、ご本人・ご家族様の希望を大切に最善の方向性を導き出すように対応している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学・相談はいつでもできるようにしています。また、入居に至る場合も面談を数回重ね、その時に現場でケアにあたるスタッフを同行。馴染めるようにいろんな見地から考え実施しています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>常に入居者様側に立った介護を心掛け、入居者様が得意とすることに着目し、職員はそのことについて教えてもらえるようにしている。あくまで人生の先輩として接し、学び、共に支えあえるようにケアに従事しています。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>日常における細かな事も、常にご家族様と連絡を取り合うように心掛け、一緒に支援していこうとする関係作りを大切にしている。</p>		
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族様の来庵時に職員は話し合いをし、双方の関係の理解に努め、良い関係が保てるように支援しています。お互いのストレスが出ないように聞き取り調査を怠ることなく支援している。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>GH内に留まらず外出の機会を増やし、今までの関係が持続できるように努めています。例えば馴染みの喫茶店に出かけたり、美容院に行ったり、また面会時間の設定を無くしたりして自由に行き来できるようにしています。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者様同士の関係の把握は、常に行い、何かあれば話し合い、職員が関係を上手く取り持つようにしている。</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>関わりを必要とする方とは継続的に相談事を聞くようにしています。また、逝去された場合も葬儀に参列したり、法事に参加したりしている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様には個別に傾聴し、十分な理解に努め、希望・意向に沿うようにしています。また、認知症状に応じて希望の表出の違いも良く把握するようにしています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>まず最初のインタビュー時にこれまでの事を詳細に聞き、入所されてからもご本人はもちろん、知人友人ご親戚の方からも情報を収集し、サービスの向上に役立てています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>センター方式の情報シートを作成したり、フロア内の職員間の情報共有に努め、その人らしくを常に意識しケアに従事している。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族様には状況の変化等をお知らせしたり、またご意見を頂きながら反映している。もちろんご本人様のニーズを引き出す努力をし、それに沿った介護計画を作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者様の状況によって3～6ヶ月ごとに見直しをしているが、何かあった場合はその都度見直しを図っている。また、その時はご本人・ご家族様と話し合いをもって行なっている。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々、介護経過記録を記入し、職員が情報を共有しながら、介護計画の見直しに活かしている。また、連絡ノートなども活用している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>主治医と連携を取り、通院の送迎・介助を行ったり、ご本人・ご家族様の希望による外出も柔軟に対応。また、ご家族様に気軽に相談を受けれるようにホーム長の携帯をオープンにしている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地区の民生委員は運営推進会議のメンバーであり、必要に応じて連携を取っている。また、ボランティアも積極的に受け入れ、消防とは防災訓練時に助言を頂き、協力してもらっています。地域の中学校にも挨拶に出向き、トライやるウィークの受け入れ先になった。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域の事業所連絡会に積極的に参加し、意見交換をしている。他のサービスを利用する体制はできている。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>以前から交流を図っていて、運営推進会議のメンバーでもあることから、より一層情報交換が出来るようになった。そういった意味から可能な限り協働できる状態を維持している。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人様・ご家族様からの希望があれば、以前からのかかりつけ医に受診するようにしています。その際の通院介助も行い、何かあればご家族様に連絡している。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医が専門的知識があり、何かあれば相談できる体制です。また、ご家族様も個別に主治医と相談できる関係である。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>主治医である医療機関の看護師および訪問看護ステーションとも契約しており、いつでも支援を受けることができます。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院された場合は、ご家族様・病院と連携を密に取ったり、頻繁にお見舞いに行くなどリロケーションダメージを軽減できる最大限の努力をしている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族会や運営推進会議など機会があれば、話し合いをし、またご家族様とも共通認識を持てるように個別に話し合うこともある。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>入居者様の身体的レベル低下が顕著に現われた場合は特にご家族様、主治医、職員が協力し、チームケアを行なえるようにしている。入居者様・ご家族様が納得できる支援に努めています。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>GH内での生活状況、ご本人様の詳細な情報など十分な話し合いを持って、住み替え時にストレスなど負担にならないようにしています。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日頃から個人情報に関することや、接遇態度については職員一同細心の注意を怠ることなく、ケアに従事しています。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>選択の機会・自己決定の機会を多くするように心掛け、また、入居者様の精神・身体状態に応じて柔軟に対応しています。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務優先でなく、あくまで入居者様主体でケアに従事し、入居者様一人一人の生活習慣を大事にし、その方のペースに合わせて生活して頂いている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容・美容はご本人の希望があれば、行っています。また、職員と一緒に衣料品の買い物に行ったりしてその人の個性を尊重し、身だしなみやおしゃれができるように支援しています。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その人の状況に応じて、調理・片付け・味見等共に参加して頂けるようにしています。一方的に行なわないように注意している。</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>嗜好品については一緒に買い物に行き、選択できるように支援し、入居者様の個別の好みを大切し、画一的な提供はしないようにしている。お酒・タバコも健康上問題がなければ楽しめるようにしています。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居者様の個人別の排泄パターンを理解し、失敗がないように誘導し、1日でも長くご自身で排泄できるように支援している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日・入浴時間はあえて設けず、入居者様個人の要望を大切に行なっている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>入居者様一人一人の生活パターンを理解し、決して押し付けのケアはしていない。昼夜逆転にならぬように日中のレクなどで楽しんでもらい、安眠できるようにしています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その方の生活歴、残存機能を踏まえて能力が発揮できるように個別に支援している。また、スポーツ、園芸、ゲームなどをし、気晴らしもできるようにしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の個人の希望・能力に応じてお小遣いを持ってもらい、使えるようにしています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者様個人のニーズに応えるべく、実施しています。その時は職員帯同で行なうようにしている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>中にこもらない様になるべく外出レクを増やし、もちろんご本人の希望に沿った場所を選択し、実施しています。</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>各ユニットに電話が設置してあり、いつでもかけられるようにしています。また、手紙のやり取りができるように一緒に暑中見舞い・年賀状作成に協力している。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面会時間を設けず、訪問できる状態にしています。また、訪問が遠のいている方に連絡をし、なるべく来てもらえるように促しています。</p>		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>虐待防止マニュアルもあり、運営者・全職員が身体拘束に対し、正しい知識を備えている。身体拘束は絶対にしてはならないことを踏まえてケアに取り組んでいる。</p>	
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全確保の為、ご家族様には理解してもらっているが、施錠しているケースが多い。</p>	<p>一部の扉にはチャイムが鳴るようにしてあったりするが、鍵をかけないようにするには時間がかかるように思う。入居者様の認知症状にも関連するデリケートな問題だと思います。今後は長いスパンでこのことを検討していき将来的にはと考えています。たとえば鍵を施錠せず、探知する機械の設置など。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>入居者様を第一に考え、見守りはきちんとしています。もちろんプライバシーには配慮しておこなっています。夜勤時の巡視は基本的には2時間おきだが、個人の状況に応じて巡視時間を短縮するなど工夫をしている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>入居者様の精神・身体的状況に応じ、危険を回避できるようにはしています。ただ、生活していることを前提に何でもなくすという考えは持っていません。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>入居者様個人の精神・身体的な状況を踏まえ、個人別のリスク管理表を作成。その方がどれだけ事故に対してリスクがあるか係数管理している。また、事故があった場合にも事故報告書を作成し再発防止に向けて話し合うなどきちんと取り組んでいる。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	主治医とはいつでも連携が取れるようになっています。主治医の指示のもと初期対応・応急措置は実施しています。但し、全職員完璧に行なえているかといえば難しいものがある。		医療会議等で主治医からレクチャーしてもらったりしていますが、まだまだだと考えます。救命救急等の専門的知識を定期的に行なえるよう準備段階です。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練は年2回必ず実施。職員の意識付けはできている。日頃の広報活動により近隣の方も高齢者施設で協力が必要であることをよく理解して頂いています。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時及び状況変化があった場合、ご家族様にリスクについて説明して理解してもらっています。ご本人にもご納得して頂ける生活を支援しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化があった場合に主治医に相談し、対応を考え、職員はきちんと情報共有している。連絡ノートの活用によりきちんと守られている。		
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容に関しては日々学んでおり、不明な点がある場合はすぐに主治医に相談できる体制です。また、服薬により変化がみられたら、主治医に連絡をし、適切な行動を取るようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェックをきちんと行い、入居者様個人個人の排泄状況を把握しています。なるべく自然な排便ができるように運動や水分管理など工夫するようにしています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご自身で出来る方は促し、出来ない方は職員が口腔ケアを行なっています。また、週1回訪問歯科の歯科衛生士さんの指導のもとフォローしてもらっています。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量はきちんと記録し、職員が意識して楽しんで食事できるように支援しています。食事の説明もかかさず、季節のものを取り入れるように心掛けています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあり、きちんと実行しています。また、専門医に聞くなど事業所として出来ることは全てしています。高齢者にとって感染症は命にかかわることという認識は全職員にある。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材が業者から送られているが、気を緩めず、きちんとチェックし、傷んだものなど廃棄し、衛生管理に努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関扉部分に入居者様と一緒に作成した施設の看板を設置し、また小スペースを使い花などを飾って親しみやすい雰囲気を作っている。</p>	
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>まずその場所が認識しやすい様に手作りの看板・ラインなど入居者様が迷わないように気をつけています。居間などに入居者様との共同作品を展示したり、思い出の写真などを飾り付け、落ち着けるように配慮しています。</p>	
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>喫煙所を設けたり、ソファの配置を考え独りになれる空間を提供しています。また、入居者様の要望により固定した空間ではなく、その時に応じ流動的に替えていくようにしています。</p>	
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのものを居室に持ち込んでもらったり、入居者様・ご家族様の希望を取り入れ、居室での空間づくりは個性的なもので落ち着けるように工夫しています。ベッド、畳対応どちらでも対応可能です。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気・室温の調整は高齢者にとって大事であるという認識を職員に徹底している。入居者様の状況に応じ臨機応変に行なっている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>完全バリアフリーではないが、危険箇所に目印をつけるなどの工夫をしている。また段差解消の為にスロープを設置したりしている。</p>	<p>EVがなく階段での昇降しなければならない。また改装型の為、完全なバリアフリーではない。今後もハード面での改善努力を続けていきたい。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>場所を把握できるように誘導テープを利用したり手作りの看板を設置し安心して暮らせるようにしている。</p>	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>裏庭に園芸ができるように花壇があり、四季の花や簡単な野菜作りをしています。またフロアによりベランダでプランターを利用し、いろんなものを育てています。</p>	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ゆうとび庵 西神戸は「より良い介護」「感動ある介護」を理念として掲げ、入居者様・ご家族様・地域の方に信頼されるグループホームを目指して運営しております。開所してから7年経ちますが、当時からの職員も多数おり認知症高齢者の造詣が深く、入居者様・ご家族様に安心してもらえるグループホームです。医療体制も充実しており、主治医とはいつでも連絡が取れる体制になっており、入居者様・ご家族様からの詳細な相談も対応可能です。とにかく「我が家」のように暮らしていけるように心掛けケアに従事しています。社員寮の改築型の為、建物は完全バリアフリーではないが真摯なケアを実践し、心の完全バリアフリーを目指しています。